

◆フォーラム主催セミナー

『 AI/IoT/ICTを活用した多様な未来社会の創造 』  
～ Society5.0時代におけるジェロントロジーの役割 ～

講師： 秋山 弘子 氏

( 東京大学 高齢社会総合研究機構 特任教授 )

記

【日 時】 2019年1月31日(木) 14:30~16:00

【場 所】 一般社団法人 情報通信ネットワーク産業協会 B~E会議室  
(港区浜松町2-2-12 JET浜松町ビル3階/TEL:03-5403-9361)

【種 別】 一般公開 / 参加費：無料

【対 象】 未来社会の創造に関心のある方

【主 催】 ICT活用による2020年とその未来検討WG

《 プログラム 》

14:30~15:30 講演

■ 概要

2030年、日本は人口の3人に1人が65歳以上という超高齢社会を迎えます。そのときに、誰もがいきいきと働きながら暮らし、充実感に満ち溢れるコミュニティのあり方を考えます。企業や行政や大学は今、何を担い、果すべきか、解決に向けた取り組みを含めご紹介しします。1個人1団体の動きではこの大きな課題は乗り越えられません。解決にはオープンイノベーションで人々が協働し、それぞれが望む社会の枠組みを創造することが必要になります。80歳、90歳になっても健康的にオフィスや自宅で働いたり、趣味に興じたり、何か発信したり、充実した毎日を送るには何をうまく使い、何を用意すれば良いのか。未来社会で必要となる社会インフラについても触れ、新ビジネスのヒントも提言します。ICT活用は言うまでもなく、最新技術(AI、IoT、ビッグデータ、ロボティクス、iPS細胞治療、ナノテクノロジー等)は未来では当たり前になっています。そうした技術をどのように活用し、新たな世界を創造し、導き、実現するか、そして、それらをどう捉えるか(ジェロントロジー)、自ら考え、行動に移すこと「Action!」こそが最も重要であることを論じます。

■ ご略歴



イリノイ大学でPhD(心理学)取得、米国の国立老化研究機構(National Institute on Aging)フェロー、ミシガン大学社会科学総合研究所研究教授、東京大学大学院人文社会系研究科教授(社会心理学)、東京大学ジェロントロジー寄附研究部門教授、日本学術会議副会長などを経て、2009年4月から現職。専門はジェロントロジー(老年学)。高齢者の心身の健康や経済、加齢に伴う人間関係の変化を30年にわたる全国高齢者調査で追跡研究。近年は超高齢社会のニーズに対応するまちづくりや産官学民協働のリビングラボにも取り組む。超高齢社会におけるよりよい生のあり方を追求。

15:30~16:00 質疑応答

※本セミナーに参加ご希望の方は、1月24日(木)までに、

<https://area11.smp.ne.jp/area/table/846/fGSKhc/M?S=pekc2rere> よりお申込下さい。

※ご提供頂きました情報は、当協会が今後主催する同様の交流会、委員会又はセミナー等のご案内、書籍・報告書等の発刊のご案内等に利用させていただきますので予めご了承下さい。

尚、以上について不都合がございます場合は、事前にご連絡賜りますようお願い申し上げます。

※会場の都合上、定員になり次第締め切らせていただきますので、予めご了承下さい。

以 上